



関西大学
体育会野球部

奪冠×Dash!

第48号
2023.12

TOPICS

- ・ 秋季リーグ戦完全優勝
- ・ 選手が選ぶ！～今秋のベストプレーTOP3～
- ・ 完全優勝の裏側
- ・ 後期 CL (チャレンジリーグ)
- ・ 侍 JAPAN
- ・ 2024 年度新幹部紹介
- ・ 新たな役職～コンプライアンス責任者～
- ・ 早瀬万豊監督 10 年間ありがとうございました！



KANSUI UNIV. BASEBALL TEAM

秋季リーグ戦 完全優勝

春季リーグ戦では近畿大学との激闘の末、あと1勝を前にリーグ戦優勝を逃した関大。春季リーグ戦の悔しさを胸に、夏の練習、オープン戦に取り組んできました。より一層成長し、大きくなった選手たちが秋季リーグ戦で躍動しました。

1節目が初戦となった関大は、同志社大学戦で2連勝し絶好のスタートを切ります。3節目の近畿大学戦では春のリベンジを果たし勝ち点を奪取します！開幕4連勝と流れに乗り、迎えた4節目立命館大学戦。秋季リーグ戦の優勝争いをする上で天王山となった試合は3回戦までもつれます。3回戦では無死満塁、絶体絶命のピンチを先発・金丸(文3・神港橋)と捕手・有馬(商4・近江)のバッテリーで無失点に抑えるなど、激闘の末勝ち点を獲得します。

6節目の京都大学戦では投打が噛み合い快勝します。

最終節、伝統の関関戦を2連勝で終え、

今秋 **10勝1敗勝ち点5** で**秋季リーグ戦3連覇**と**完全優勝**を果たしました！

最優秀選手賞、最優秀投手、ベストナイン・投手
金丸夢斗

三冠達成！

ベストナイン・捕手
有馬諒

ベストナイン・一塁手
富山雄正 (総情3・大阪借星)

ベストナイン・三塁手
下井田悠人 (経2・報徳学園)



有馬前主将からのコメント

今年1年間応援ありがとうございました。

春も秋もあと一歩、あと1勝のところで全国大会への道が閉ざされてしまう悔しい1年となりました。それでも最高のチームであったと断言できます。試合に出て精一杯のプレーをする選手、ここぞの場面で試合に出て貢献する選手、声を枯らして応援してくれる選手、サポートに徹し貢献してくれる選手、形は違えど一人一人が各立場で必死に勝利へ向けて戦う素晴らしいチームであったと思います。最後に神宮大会へ行けなかったことがひとつ心残りではありますが、選手全員が満足のいく充実した1年であったのではと思います。これもすべてOB・OGの方々をはじめ、保護者様のサポートや応援などの支えがあってこそだと思います。改めて本当にありがとうございました。

選手が選ぶ！～今秋のベストプレーTOP 3～

- 1 立命戦 金丸の無死満塁を抑える力投！！
- 2 近大戦 山田(商2・関大北陽)の延長12回勝ち越しツーランホームラン
- 3 立命戦 小谷太(社2・大阪桐蔭)の代打初球ホームラン



神宮大会出場権をかけた代表決定戦ではスーパーシードで臨むも2連敗を喫し神宮大会出場を目前に4年生は引退となりました。この悔しさを胸に4年生には次のステージでの活躍、新チームは全国制覇を目標に最高のチームを作り上げていきます！



完全優勝の裏側

応援

試合前日全体LINEでの暖かいメッセージ

試合前日の夜、毎試合欠かさず4年生ベンチ外メンバーからの暖かいメッセージが送られてきていました。

秋季のリーグ戦では新たな企画を始めていました！

高校球児の招待

春季リーグ戦から応援の制限が緩和され、声出し応援が解禁となり、応援がどれだけ選手の力になるかということに身染みて感じることができました。そこで、100年以上の歴史を誇る応援団と一丸となりスタンドで選手が毎試合全力で応援している姿を見て、これからの野球界を担う高校球児と関西大学の応援を一緒にすることができたら今までにない最高の応援を作り上げることができるのではないかと考えました！

そして、応援に参加してもらうとともにレベルの高い関西学生野球、大学の試合を学びに変えてもらえたらと思い高校球児をリーグ戦に招待する取り組みを行いました。

この取り組みは8月から始め、現在関大野球部に所属している部員の母校や、試合会場から近い学校などを対象としてお声がけをさせていただきました。その結果、計8校・約300人程の高校生がリーグ戦応援に駆けつけてくれました！

この応援の力もありリーグ戦完全優勝が出来ました！応援に来てくださった皆さんありがとうございました。

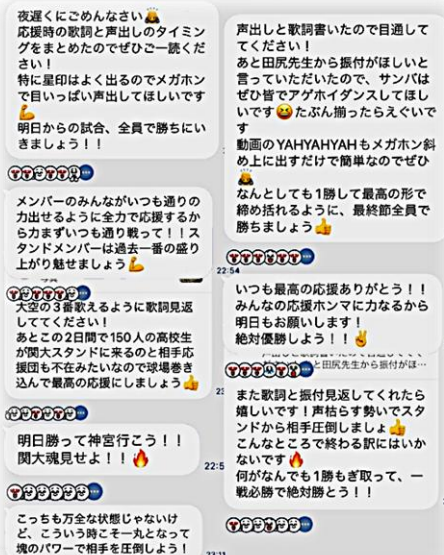
これからもこの取り組みを続けていき、全国制覇に向けて日本一の応援を作り上げたいと思います！これからも応援の程よろしくをお願いします！

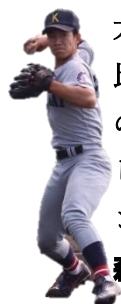
立命館大学戦チームのピンチを救った服部(化生2・神戸学院大附)

立命戦、メンバー入り投手がインフルエンザにより欠けるなか服部が急遽リーグ戦初のベンチ入り。高校球児招待により球場に応援に来ていた母校、神戸学院大附の応援の目の前で好投を見せつけました！

幻の首位打者賞高田幸(商4・伊川谷北)

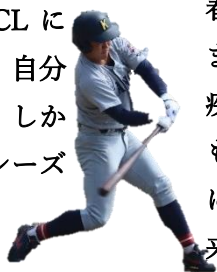
立命戦で高田幸は肩の脱臼をし、秋季リーグ戦最後の舞台になりました。この試合までは打撃成績が0.435と首位打者賞を狙える位置につける活躍をみせました。欠場した4試合、背番号「7」をベンチに掲げ戦いました！





大学野球生活初の公式戦となった春の CL に比べ、落ち着いてプレーする事ができ、自分の長所を発揮できる場面が増えました。しかし、まだまだ課題があるので、来春のシーズンに向けて頑張ります。

森内大奈 (総情1・福井工大福井)



春に続き 2 勝 3 敗という悔しい結果に終わってしまいましたが、チーム全体で取り組んでいる一塁までの全力疾走や牽制時のバックコールなどの徹底事項は春よりも高い意識で試合をすることができました。課題が明確に見え、収穫の多い CL でした。今回の課題を消化して来シーズンに活かしたいです。

主将・中村暖道 (政策2・東海大大阪仰星)



今回の CL では上手いかないうことが多く悔しい気持ちですが、毎試合がとても良い経験になりました。悔しい気持ちを糧に来シーズンに向けて、日々の練習を頑張ります。

小村和太 (文2・大社)

後期 CL
第4位 (チャレンジリーグ)
2勝3敗 勝ち点4

後期 CL を終え、多くの収穫や課題が見つかり選手たちは大きく成長を見せた期間となりました。来春に向けてさらに個人力、チーム力を上げられるよう切磋琢磨して、頑張ります！
 これからの関大を担う、頼もしい選手がさらに成長していく姿に今後ご注目ください！

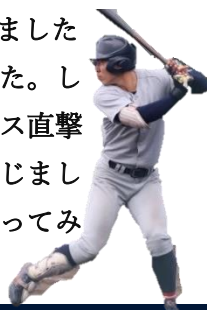


今回の CL を終え、一つのミスから大量失点に繋がること、野球は流れのスポーツと言われることが良くわかりました。一塁手としての成長を感じた点は、エラーが 0 だったこと、送球を全て捌けたことです。

鹿熊大誠 (総情2・龍谷大平安)

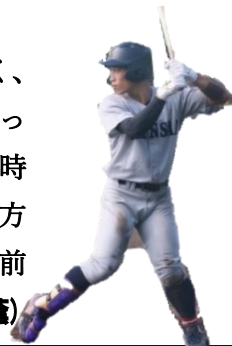
今回の CL でタイトルを狙って挑みましたが、達成することはできませんでした。しかし、試合の中でセンターにフェンス直撃のツーベースを打てたので成長を感じました。リーグ戦で、絶対にタイトル取ってみせます。

菊川泰暢 (社2・今治西)



今回の CL では 1 番でスタメン出場する事が多く、リードオフマンとしてチームに貢献しようと思っていました。思った結果が出た時も、出なかった時もありましたが、内容的には良いアウトのなり方で多くの打席を終える事ができ、良い課題を冬前に残す事が出来ました。

河田流空 (文1・大阪桐蔭)



侍 JAPAN 大学代表候補選手 ～強化合宿～

プラハ・ベースボールウィーク 2024
 (2024 年 7 月 6～9 日@チェコ)

第 31 回ハーレム・ベースボールウィーク 2024
 (2024 年 7 月 12～19 日@オランダ)に出場する

侍 JAPAN 大学代表候補選手の強化合宿
 (12 月 1 日～3 日@松山坊っちゃんスタジアム) に
金丸が選出されました！



全国トップレベルの選手が集まる中、2 日目に実施された紅白戦では失点を喫すも、自慢のストレートでアピールし多くのことを吸収することができました！

金丸



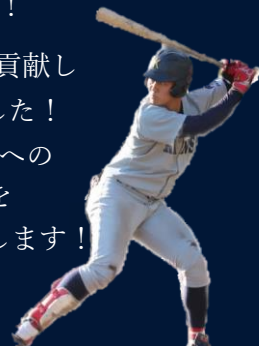
侍 JAPAN

カーネクストアジアプロ野球
 チャンピオンシップ 2023

(2023 年 11 月 16 日～19 日@東京ドーム)に、
 関大野球部 OB で、現在オリックス・バファローズに所属し、
 活躍しておられる OB・野口智哉氏(平成 30 年入学)が
 が選出されました！

本大会で、チームに貢献し
 見事**優勝**を収めました！
 これからも野口選手への
 温かいご声援を
 よろしくお願いいたします！

野口智哉



新幹部 紹介

2024年度

山口 健太

YAMAGUCHI KENTA

主務

社安3・佐賀北

日頃より温かいご支援、ご声援を賜りありがとうございます。春秋共にあと一步で全国大会出場を逃し、最終学年に懸ける思いはより一層強くなりました。周囲から応援され、「全国制覇」にふさわしいチーム作りに励んでいきたいと思っています。今後とも関大野球部へのご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

花谷 敦史

HANATANI ATSUSHI

副将

商3・高田商

日本一を目指して取り組み、昨年までの悔しい気持ちを持って部員一同切削琢磨していきます。その中で全員が同じ方向を向いて本気で取り組むことができるよう率先して行動します。応援よろしくお願いいたします。

金丸 夢斗

KANEMARU YUMETO

投手責任者

文3・神港橘

今年は自分も含め悔しい思いをしました。この悔しさを忘れず、今までの経験を活かし結果と野球への取り組み方で投手を中心にチームを引っ張っていきます。そして日本一の投手陣をつくりあげます。目指すは全国制覇です。応援よろしくお願いいたします。

武岡 侑平

TAKEOKA YUHEI

学生コーチ

シス理3・香里丘

先輩達があと一步のところで叶わなかった神宮大会に出場し、全国制覇できるように自分ができる限りのサポートをしていきたいです。目標達成のために何が必要なのか日々考えながら取り組んでいきたいと思っています。



後列左より：山口健、金丸、武岡、明澤、薮

前列左より：富山、藤原太、花谷、眞銅

藤原 太郎

FUJIWARA TARO

主将

法3・佐久長聖

伝統ある関西大学体育会野球部の主将に選んでいただきとても光栄に思います。同時に、その名に恥じない発言、プレー、行動でチームを引っ張っていきたく強く思います。チームとしての目標は一つです。「全国制覇」この目標に向かって情熱を持って取り組んでいきます。関大野球部の応援よろしくお願いいたします。

富山 雄正

TOMIYAMA YUSEI

副将

総情3・大阪偕星

副キャプテンとしてキャプテンの藤原を支えられるよう、また選手としてこのチームを引っ張っていけるよう頑張ります。また、来年こそは全国制覇を成し遂げます。応援よろしくお願いいたします。

明澤 奨麻

AKEZAWA SHOMA

学生コーチ

人健3・明石清水

「全国制覇」を成し遂げるためには、選手・スタッフが一つになる必要があります。一つになるために、私たち幹部が中心となり、チームを引っ張っていきたくと思います。次こそ「全国制覇」できるように、全員で頑張りますので応援よろしくお願いいたします。

薮 巧真

YABU TAKUMA

学生コーチ

人健3・興國

春、秋とあと一步のところで悔しい思いをしたことを忘れず、日々の練習に取り組み、大所帯が束となって戦えるチーム作りを目指します。来年は2度笑って終わることができるよう、精進してまいりますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

新たな役職～コンプライアンス責任者～

この度、新たな役職として **コンプライアンス責任者** を設けました！近年、学生スポーツにおいて不祥事が発生しています。関大野球部内での風紀をより良くするための業務を担います。初代コンプライアンス責任者を務めるのは、**眞銅和馬**（人健 3・浦和学院）です。今回、目標や今後の取り組みについて、話を聞きました！



選手から見える位置で常に意識

Q.現時点で取り組みとして考えていることは？

新たにコンプライアンス面における部則の策定を行います。また、関連する記事やニュースを掲示板に貼り、選手が見る場所に置くことで、注意喚起を促すとともに社会の現状理解にも繋げていきます。



共により良い
関大野球部に！



Q.選手に一言お願いします！

私が先駆者として活動しますが、全員が同じ気持ちを持ち、より良い関大野球部を作りましょう！

模範となる組織を目指す

Q.コンプライアンス責任者として、どんな野球部にしたい？

部員全員がトラブルに巻き込まれないために、部則の策定や注意喚起などで防止し、学生スポーツにとって模範となるような野球部にしたいです。また、野球部が社会規範の発信源となることを目標とします。



キャッチャーに聞いてみた！
眞銅和馬ってどんな人？

何事にもがむしゃらで、どんな時でも野球のことを考えてる先輩です。ムードメーカーの一人で、みんなから愛されています。



高垣 裕史
(シス理2・滝川)



仁木 千聖
(経済1・英明)

ご協力ありがとうございました！



関大野球部でペットボトルキャップ回収を始め、約5か月が経ちました。これまでに集まったペットボトルキャップは、約 **7,000 個** に上りました！

今回、秋季リーグ戦のチケットブースに回収箱を設置しましたところ、たくさんの方に入れていただきました。また、選手が「アルバイト先からです！」と言い、持ってきてくれるなど多方面からのご協力もありありがとうございました！



早瀬万豊監督 10年間ありがとうございました！

10年間の軌跡



プロフィール

1958年、岡山県生まれ。

○選手歴

作陽高校ー関西大学ー日本生命

○現役引退後

日本生命コーチ、監督に就任。

その後、松江支社長などを歴任し、**2014年、関西大学野球部の監督に就任。**

2014年、就任1年目の秋季リーグ戦で優勝。
第45回明治神宮野球大会に**42年ぶり**に出場。
2016年、第47回明治神宮野球大会に出場。
2017年、第48回明治神宮野球大会に出場。
2019年、第50回記念明治神宮野球大会で準優勝。
2021年、秋季リーグ戦で優勝。
2022年、第53回明治神宮野球大会に出場。
2023年、秋季リーグ戦で完全優勝。



早瀬監督からのコメント

2014年1月7日20時、関西大学第4学舎の教室にて初めてのミーティング。就任挨拶と部員全員に配った一枚の『執行方針』の説明からスタートしました。「全国制覇」「強くて良い野球部」を目指したこの10年を振り返ると、ほっとしていると同時にもっとできたのではないかな、もっとすべきことがあったはずだと自問しているところです。

2014年の秋季リーグ戦優勝、その翌年の関大野球部創部100周年、2016年8月25日のKAISERS BASEBALL FIELDの竣工式。2019年の応援団、関係者、関西大学校友会の皆様と共に戦った第50回記念明治神宮野球大会での慶應義塾大学との決勝戦。コロナ禍による難しく厳しかった約3年間。総合関関戦、安芸キャンプ、今年の秋季リーグ戦優勝などの思い出の数々。一方、春季リーグ戦で優勝することができず全日本大学野球選手権大会に出場できなかったこと、絶対目標の「全国制覇」を達成できなかったことなどの悔しさもあります。しかし、いま振り返ればそれらのことも全て素晴らしい思い出であり財産です。

これまで、一緒に取り組み、学び、挑戦してきた最高のスタッフ、全てのマネージャー、学生コーチ、選手たち、そして日本一のスタンドには誇りと感謝しかありません。学生たちの青春の一部に関わらせてもらえたことは私にとって大きな喜びでした。

そして、野球部の活動と取り組みにご理解、ご協力をいただきました大学関係者、応援団、OB・OG、ご家族、ご縁をいただいた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

今後はOBの一人として関西大学体育会野球部を応援してまいります。

最後に皆様のご健康とご繁栄、そして野球部の活躍を心からお祈り申し上げます。

早瀬 万豊

編集後記

奪首×Dash! 第48号を最後までご覧いただきありがとうございます。

スローガン『一意専心～断固たる決意～』を掲げ、部員全員が目標に向かって突き進んだこの1年。神宮大会にはあと一步届きませんでしたが、4年生の最後まで諦めない姿や応援に対する姿勢は、後輩にとって強い刺激となりました。

100年を超える伝統と「全国制覇」の目標を引き継ぎ、来年も取り組んでまいります。新体制となる関大野球部にも温かいご声援をよろしくお願いいたします。



左から池戸(社2・京都先端科学大附)
松井(社2・綾部)、長田(社2・関大一)